

平成 27 年度 学校評価実施報告書

学校番号 19

学校名 県立千葉西高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	学校関係者評価の結果
学 校 経 営	<p>①学校評価アンケートでは、学校生活全般への肯定的評価の割合は、生徒82%、保護者88%である。また生活・学習実態調査でも、学校生活に対する否定的評価は9%にとどまっている。授業参観や行事の際は、6割の保護者が来校しており、また、アンケートの保護者回収率は85%と、例年同様保護者の学校活動への関心の高さが伺われる。</p> <p>②ホームページは、昨年9月にネットコモンズに移行した。<u>8部活が紹介をリニューアルし、9月以降の学校情報の更新回数も11回と増加した。</u>これとは別に、保護者からは職員から直接学校の様子を聞く機会を増やして欲しいとの意見がある。</p> <p>③昨年10月に地域自治会、千葉市と連携し、本校を会場に地域住民の方の防災避難訓練を初めて実施した。また、部活動生徒会の地域活動についても、新たな取組を始めた。</p>	<p>①生徒・保護者の学校生活への満足度は、8割以上と高く、良好な状況と評価する。校外からみて保護者会が活発に活動している様子が伺われる。今後もこの状況が維持され、学校がさらに発展するよう期待する。</p> <p>②保護者に直接理解を求める機会として、保護者面談の機会を増やすことを検討するなど、学校の活動がより広く理解されるように努めてはどうか。</p>
学 習 指 導	<p>①生徒の状況把握のため、学校評価アンケート(12月)、生活・学習実態調査(11月)、家庭学習状況調査(年3回)、授業評価アンケート(1月)を実施した。</p> <p>②<u>学力向上に向けての取組は、生徒から82%と例年同様高い評価を受けた。</u>その一方で、丁寧に分かりやすい授業であると評価した生徒は61%であり、昨年度(75%)より落ち込んだ。また、1,2年生の家庭学習時間が少なく(2時間以上学習している者22%)、授業で自発的学習への動機付けが十分できていない状況と考えられる。</p> <p>③年2回の相互授業公開を実施し、また初任研、フォローアップ研、指導課訪問をとおして授業の改善に取り組んだ。</p>	<p>①②生徒は、学力向上に対して学校側が努力をしていることには高い評価を与えており、適切な学習指導が行われていることが伺える。生徒に対してシラバス等を活用しながら、それぞれの授業の中で学習・活動の目標を明確に説明し理解させることに取り組んでほしい。また、生徒が主体的に活動し、わかったという喜びが感じられる授業に向けて、引き続いて努力をしてほしい。</p>
生 徒 指 導	<p>①学習指導とともに、生徒の状況把握のため各種調査に取り組んだ。実態調査では、<u>学校の中に信頼できる友人がいると99%の生徒が答え、</u>いじめ、体罰、セクハラ等の各種調査でも問題事例はあがっていない。また、今年度から2学期にも生徒面談期間を設け、生徒理解に努めた。</p> <p>②昨年度より「常に自らを正す」姿勢の浸透を指導方針とし、今年度は服装指導に重点的に取り組んだ。アンケートによれば、<u>生徒の生活指導に対する肯定的評価は62%と昨年度(89%)から大幅に下がった。</u>ただし、<u>保護者の評価は82%</u>と、ほぼ前年同値である。</p> <p>③通学バックについては、現在の生徒の通学状況と、生徒・保護者の要望を受けて検討してきたが、来年度より自由化することとした。</p>	<p>①地域、校外の関係者からみると、生徒たちは非常に節度があり、あいさつなどもしっかりできる落ち着いた状況と評価できる。</p> <p>②生徒に、より良い姿勢を求めるためには、まず教職員が「望ましい姿」を示すことが大切である。様々な研修等の機会をとおして、教職員が生徒指導に対する理念と手法を身につけ、生徒を伸ばしてほしい。</p> <p>③今後も生徒の実態を踏まえ、生徒心得等の点検を行ってほしい。</p>
キ ャ リ ア 教 育	<p>①外部講師による生徒への講話、指導等10回、職員による説明、指導会15回、職員研修会3回など、進路指導の充実を図った。延べ602時間の進学課外授業も実施し、これらに対する<u>生徒の肯定的評価は82%</u>である。</p> <p>②今年度は昨年度に比べて3割ほど推薦、AO入試による大学進路決定者が減少する見通しである。<u>センター試験受験者も332名(昨年度302名)と過去最多となった。</u>自ら学力を高め、希望の進路先へ挑戦する生徒の増加が伺われることは、指導の成果と考える。</p>	<p>①学校での様々な取り組みがあり、それが生徒の意識に働きかけていることは、進路に関する状況のデータから伺うことができる。</p> <p>②学校の活動がよく保護者に伝わっていないようだ。様々な広報の機会を検討すると共に、生徒・保護者と教職員が直接話し合い、意識を共有する機会の充実させることが課題である。</p>
特 色 あ る 教 育	<p>①神田外語大学との高大連携事業は、本年度は参加者12名(前年度4名)と開始以来最多となった。</p> <p>②清掃活動について、アンケートでは生徒の82%が積極的に参加していると回答している。ワックスがけなどに引き続き取り組んでいるところであるが、生徒、保護者ともに環境の改善を求める意見が強い。</p>	<p>②教育環境の整備は、学校の特色の一つである。美化活動について、現在の取組を継続し、さらにきめ細かく生徒と共に努めてほしい。同時に、トイレの改修問題などは様々な機会にしっかりと働きかけ、早期の改善はかってほしい。</p>

平成27年度 学校評価アンケート結果

	生徒	保護者	職員
1 私は(子どもは)、西高での高校生活に満足している。	82	88	92
2 私は(子どもは)、学校の教育方針を理解している。	48	76	74
3 西高の先生は、生徒一人ひとりを大切にしている。	59	79	87
4 西高は、清潔で学習環境が整っている。	65	72	61
5 西高は、安全安心で明るく活力のある学校づくりに取り組んでいる。	77	87	87
6 私は(子どもは)、学習に意欲的に取り組んでいる。	59	72	74
7 西高は、学習内容・評価方法を生徒保護者に説明している。	70	66	86
8 西高では、学習成績が適正に評価されている。	84	88	95
9 西高の先生は、丁寧でわかりやすい授業に努めている。	61	70	90
10 西高は、授業や補習の充実により、学力向上に努めている。	82	73	89
11 西高は、進路選択に対して適切な情報・アドバイスを提供している。	72	72	88
12 私は(子どもは)、時間や服装など校則を守って生活している。	86	86	61
13 西高は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している。	61	74	91
14 西高は、問題(トラブル)などに適切に対応している。	74	81	87
15 西高の生徒指導は、適切である。	62	82	68
16 私は(生徒は)、朝読書に真面目に取り組んでいる。	70		64
17 私は(生徒は)、清掃を積極的に行っている。	84		65
18 西高は、生徒会や部活動が活発である。	77	83	91
19 西高の学校行事は、充実している。	70	84	89
20 私は(子どもは)、学校生活や進路について家庭で話し合っている。	74	87	
21 学校からの情報は、家庭での生活、話し合いに活かされている。	57	68	
22 西高は、保護者や地域とよく連携している。		70	83
23 西高の保護者会は、活発に活動している。		81	89